

# ヒビダンB

近年、コンクリート構造物の長寿命化、高耐久化の要求から、コンクリートの乾燥収縮によるひび割れの抑制対策に関心が高まっています。

ヒビダンBはJIS A 6211「コンクリート用収縮低減剤」に適合する収縮低減剤です。

ヒビダンBを用いることで、耐久性に優れたコンクリート構造物の構築が可能になります。

## 特 長

- 優れた界面活性効果により、モルタル・コンクリートの乾燥収縮を大幅に低減することができます。
- 使用量に応じて乾燥収縮を約5~65%低減することができます。
- ベースコンクリートのワーカビリティーに悪影響を及ぼしません。
- 鉄筋や鋼材等の発錆の原因となる塩化物は含みません。

## 主成分・物性

主 成 分	外 観	密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)
ポリエーテル誘導体	淡黄色液状	0.95 ~ 1.05

## 使用量・使用方法

- ヒビダンBの標準使用量の範囲は、レディーミキストコンクリート1m<sup>3</sup>に対して、2~35kgです。
- 最適な使用量は、使用目的、材料条件、配合条件などにより異なりますので、標準使用量の範囲内で目標の性能が得られるよう試し練りにより決定してください。
- ヒビダンBは水に溶解しますので、モルタルおよびコンクリートの練混ぜ時に、単位水量の一部としてご使用ください。
- アジテーター車に直接投入して使用することも可能です。その場合、ヒビダンBは単位水量の一部としてご使用ください。

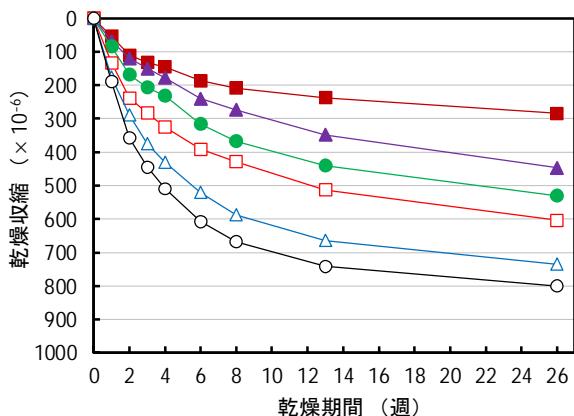
## JIS A 6211「コンクリート用収縮低減剤」による試験結果(例)

項 目	JIS A 6211 に よる規定値		試験値
フロー値比 (%)	85 以上		99
凝結時間の差 (分)	始 発	120 以下	20
	終 結	180 以下	25
圧縮強さ比 (%)	材齢 7 日	80 以上	96
	材齢 28 日	85 以上	99
長さ変化比 (%)	乾燥期間 7 日	70 以下	54
	乾燥期間 28 日	75 以下	60
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量 (質量分率%)	0.10 以下		0.00
全アルカリ量 (質量分率%)	1.5 以下		0.0

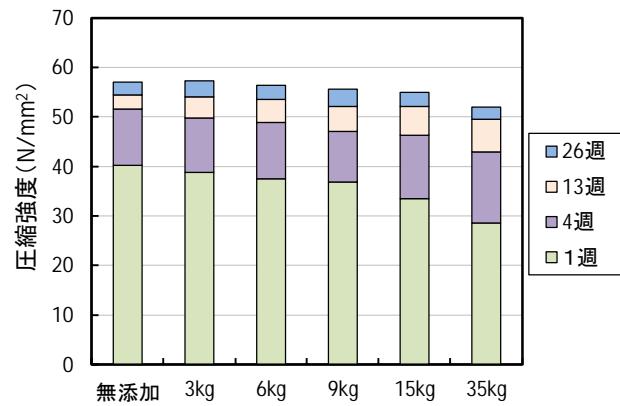
注: 試験モルタル1バッチの配合のヒビダンBの使用量 7.7g/合計質量

一般財団法人 日本建築総合試験所による試験結果

## コンクリート試験結果(例)



乾燥収縮試験結果



圧縮強度試験結果

## &lt;使用材料&gt;

セメント：普通ポルトランドセメント(密度 3.16g/cm<sup>3</sup>)、細骨材：陸砂(密度 2.58g/cm<sup>3</sup>)+碎砂(密度 2.68g/cm<sup>3</sup>)=7:3、粗骨材：碎石 2005A(密度 2.68g/cm<sup>3</sup>)

混和剤：AE 減水剤(高機能タイプ)標準形、収縮低減剤ヒビダン B

## &lt;試験条件&gt;

目標スランプ：18cm、目標空気量：4.5%、コンクリート温度：20°C

収縮低減剤添加方法：単位水量の一部として用いた

圧縮強度試験：JIS A 1108 に準拠、20°C水中養生、乾燥収縮試験：JIS A 1129 に準拠

## &lt;配合&gt;

W/C (%)	s/a (%)	単位量(kg/m <sup>3</sup> )				AE 減水剤(高機能タイプ) (C × %)	ヒビダン B (kg/m <sup>3</sup> )
		水	セメント	細骨材	粗骨材		
50.0	46.2	175	350	806	965	1.0	0, 3, 6, 9, 15, 35

## 取扱い上の注意事項

- 本製品を標準使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試し練りで性状を確認するか、当社営業担当に別途ご相談ください。
- 取扱い時には、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、粘膜に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをしてください。
- 目に入った場合は、清浄な水でよく眼を洗浄し、腫れ痛み等の異常が感じられる場合は、眼科医の手当てを受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄し、無理に吐かせず、直ちに医療処理を受けるよう手配してください。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

## 荷姿

- 17kg缶 / 180kg ドラム

## 竹本油脂株式会社

本社・研究所 〒443-8611 愛知県蒲郡市港町2-5 TEL.0533-68-2118 FAX.0533-68-1339

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE 八丁堀3F TEL.03-3553-6912 FAX.03-3553-6920

大阪営業所 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル9F TEL.06-6243-3306 FAX.06-6243-3347

九州営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-10 東福第三ビル2F TEL.092-431-4355 FAX.092-473-8605

●このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。

●ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。

2025.09